

し、いつでも保護者様へ情報提供ができるように準備しておくことが支援員のあるべき姿であると考えます。何より日常生活から一人ひとりにあった老化予防に努めることと、障がい者の方が自ら体調不良等を伝えられるよう日々支援していくことが大切なのではないでしょうか。ありがとうございました。

事業所さん紹介(11)

NPO法人大阪港あゆみ福祉会 あゆみ作業所

◆事業所の紹介・特長

NPO法人大阪港あゆみ福祉会は、あゆみ作業所(日中支援の生活介護事業)とショートステイあゆみ(夜間支援の短期入所事業)を両輪として連携し、障がいのある人たちが、住み慣れたこのまち・地域で、安心して働き・暮らし・社会参加できるよう、しっかりとサポートする法人として励んでいます。

特徴的な取り組みを2つ紹介します。

1. 毎年5月に一泊で「あゆみ作業所家族会旅行」を実施し、21回目の今年は2度目の淡路島の旅を楽しんできました。「利用者・家族・職員の親睦を深め、日常の支援の向上につなげる」ことを目的に、「あゆみ」の特徴を活かした企画です。

2. 毎年11月3日に、地域の皆さん等に施設を開放して『あゆみ福祉まつり』を開催しています。利用者の仲間のステージ、日用品バザー、手作り品販売、喫茶コーナーなど実行委員会形式で企画し、利用者・家族・職員の3者が一体となって、楽しい取り組みを進めています。

【ダンスのレッスン風景】



◆支援員さんが大切にしていること(モットー)

生活介護あゆみ作業所の支援員は、日々の実践の中で、利用者の仲間の皆さんの気持ちに向き合う・寄り添うことで安心感や信頼感を育み、それぞれの意欲に基づく個性を活かし合う支援を大切に取り組んでいます。様々な取り組みの中で、金曜午後のクラブ活動を紹介します。

お出かけ部…ミーティングを行い、皆さんに行きたい場所を聞いて、それぞれの体力などにも配慮しながら、ゆったり行動出来る様に活動しています。

運動部…基本的に長距離ウォーキングで体力強化を目指しています。運動が好きな人が参加し、八幡屋公園やダイヤモンドスポットまで歩いています。

音楽部…『あゆみ福祉まつり』の準備の期間は、発表のためハンドベルの練習を行っています。その他の時期は、皆でカラオケを楽しんでいます。

クラフト部…2017年の秋から、月1~2回のペースで、お母さんたちに多種類のクラフトを教えられる自主製品を作っています。楽しみにしている人も多くいて、夢中になって取り組んでいます。『あゆみ福祉まつり』をはじめ地域のミニバザーでも販売させていただいています。

【池島ふれあいまつりステージ発表】



今年度も継続して年に数回、地域よりダンスの先生を招いて「楽しいダンス教室」を開催しています。①健康体操やストレッチなども取り入れていただいて、日常の取り組みに活かしています。②先生・利用者の仲間・支援員でダンスの希望曲を持ち寄り、映像を観たり、曲を流して実際に踊ったりして、ダンスの曲もみんなで決めています。そして、「池島ふれあいまつり」や、「みなと福祉のひろば」のステージ発表を目標に、楽しくリラックスして続けていきたいです。

【クリスマス会を終えて】

